

KiKiの広場

2023年10月 1日
cafe NO.156
KiKi



先月9月25日で、「ヒストリア宇部」は13周年を迎えました。当日、いつもご利用いただいているコーラグループのみなさんが、「HAPPY BIRTHDAY TO YOU」の歌のプレゼントをしてくれました。みなさんが一緒に祝ってくださって、こんなに有難いことはないなあとしみじみ思いました。動画を観た館長もとても感激していました。また14周年に向けて、新たな気持ちで頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

10月の予定

休館日	10日(火)
休業日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	31日(火)



「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」
「バナナキャラメルシフォンケーキ」……300円

バナナの香りと甘味を楽しめるふわふわのシフォンです。キャラメルとの相性も抜群です。



今月のお気に入り…「いろいろな秋を見つけよう！」

～「落ち葉」「まほうのえのぐ」「ぼけぼけはっぱ」「ダニエルのふしぎな絵」「ぶどう酒びんのふしぎな旅」「どんぐり」などなど～

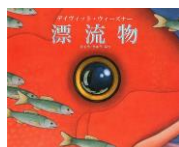


「落ち葉」は、「いちご」や「くだもの」の作者平山和子さんです。山麓に住んで、ひたすら落ち葉を見つめ、原寸大で描き続けてきた平山さんの、数百点の絵の中から厳選したものだそうです。芸術作品のような落ち葉の美しさを満喫できる絵本です。「まほうのえのぐ」は、優しさあふれるファンタジーの世界が楽しめます。林明子さんが描くと、動物たちもこんなに可愛らしくなるんだと改めて感じました。私は主人公のよしみちゃんの表情が、何とも言えず愛らしくて大好きです。

今月の本棚…「不思議な絵本・かわった絵本・不気味な絵本」



～「漂流物」「ミロとまほうのいし」「タイムフライズ」「ZOOM」「だまし絵サーカス」「夜がくるまでは」「真屋の夢」などなど～



文字のない絵本「漂流物」の作者は、デイヴィット・ウィーズナー。大好きな作家の1人です。少年が浜辺で拾ったのは1台の古いカメラ。そのフィルムを現像してみると…そこから想像を超える不思議な世界、時空を超えた世界に連れていかれます。「ミロとまほうのいし」の作者は、「にじいろのさかな」のマーカス・フィスター、訳は谷川俊太郎さんです。島で暮らすねずみのミロが不思議な光る石を見つけたことからお話は始まります。途中から「しあわせなおわり」と「かなしいおわり」に、お話が上下に分かれてすすんでいくのも見どころです。谷川さんの訳がスッと心に響いてきます。



ほっとフレイク

ヒストリアの花壇…昨年秋まで、ヒストリアの壁に這わせて3本の薔薇が咲いていました。今は真ん中の木が枯れてしまいましたが、その薔薇の足元の花壇には、清掃のKさんが自宅から苗を持ってきて植えてくださっている花たちが、少しずつ咲いています。「ヤブラン」「紫御殿」「弁慶草」「アマクリナム」「彼岸花」「ブラキカム」「ケイトウ」「コバノランタナ」、どれも可愛らしいですが、中でも私は「彼岸花」が好きです。ただ今年は彼岸花の開花が2週間



程度遅くなっているようです。暦の上では秋になっても、土の中ではまだまだ夏で、今顔を出したらすぐ枯れてしまうと知っているのでしょうか。毒があるので、土葬をモグラや野ねずみから守る為、墓地などによく植えられていることから、「死人花」「幽霊花」「地獄花」のようなちょっと怖い呼び名もついています。が、「曼殊沙華」という美しい別名もあります。天界に咲く花という意味があり、おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくる、という仏教の経典からきているそうです。ちなみに「紫御殿」の花びらに止まっているのは「ヤマトシジミ」です。近づいても無心に蜜を吸っていました。!(^^)!

